

<対策のポイント>

- 野生鳥獣被害の深刻化・広域化に対応するため、**地域関係者が一体となった被害対策の取組**や、**ジビエ利用拡大に向けた取組**を支援します。

<政策目標>

- 深刻な農作物被害を生じさせているシカ、イノシシ、サルの捕獲を強化
- 野生鳥獣のジビエ利用量の拡大

<事業の内容>

市町村が作成した「被害防止計画」に基づく取組等を総合的に支援します。

- **侵入防止柵(再編整備含む)**、ジビエ処理加工施設(保冷車等含む)、焼却施設、捕獲技術高度化施設の整備 等※

[1/2以内、侵入防止柵の資材費のみ交付対象とする場合は定額支援]

- **地域ぐるみの被害防止活動**、ジビエ利用拡大の取組、スマート捕獲、**捕獲現場及びジビエ処理加工現場でのOJT研修**を支援

[1/2以内、取組状況に応じた限度額内で定額支援]

- 都道府県が実施する**広域捕獲活動**、**新技術実証活動**等を支援

[2,300万円以内を定額支援]

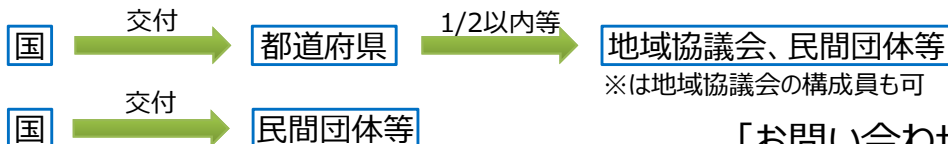
- **捕獲活動経費の直接支援** (獣種やジビエ利用の有無に応じた上限単価以内で定額支援)

- **未利用部位等のペットフード等への活用に向けた新規用途調査等** [定額]

- **ジビエの全国的な需要拡大のため、プロモーション等への取組を支援** [定額]

等

<事業の流れ>

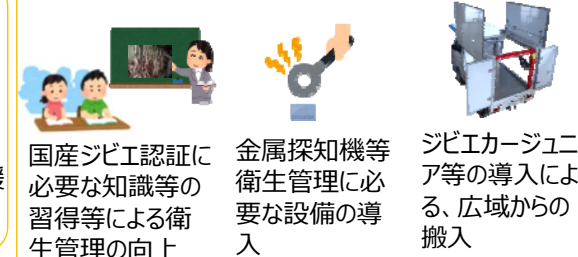


<事業イメージ>

〔総合的な鳥獣被害対策〕



〔ジビエ利用拡大に向けた取組〕



モデル地区の取組を横展開



〔スマート捕獲による捕獲の効率化〕

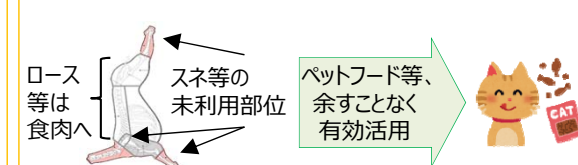


〔捕獲者、処理加工施設人材育成〕

捕獲現場、処理加工現場でのOJT研修



〔未利用部位等の新規用途調査〕



廃棄していた部位の有効活用により、ジビエ利用量の拡大を図るとともに、施設経営を圧迫していた処分経費の縮減に寄与